

“ほっとスペースじいちゃんち”

やっと地域とつながれた



大田区に住み着いて約50年が過ぎた。67歳まで現役で仕事をし、退職して4年3ヶ月が経過したが、在職中の40数年間は地域と全く無縁だったことに気が付いた。どうしたら地域の人との関係ができるか考えていた時、社会教育課が行っていた区民大学『「地域と教育」講座』が目に入り、受講することにした。この講座で学んだ仲間6名で子育て支援“ほっとスペースじいちゃんち”を昨年の6月1日にスタートし1年3ヶ月が過ぎた。活動は第一土曜日と水曜日で月に4回、11時から16時まで、わが家の2階を開放して行っている。最初はスタッフ6名で活動していたが、それぞれ仕事を持っている人や子育て中の者もいるので、地域で子育てを終わった人に手伝ってもらっている。

現在、登録者数は111名で0歳～3歳児が80数%で、20%弱はおにいちゃん・おねえちゃん、中には生後1ヶ月くらいの子どもを連れて来られるおかあさんもおられる。この会の方針は子育て中のおかあさん方にマッタリした時を過ごしていただくことで、オシメの交換と授乳はおかあさんにやっていただくが、少々泣いてもスタッフが交代で抱っこしている。眠くなってグズル子はおかあさんにそっと渡し、ベッドルームで授乳しながら寝かしつけてもらうことがあるが、時には子どもを寝かせながらおかあさんも寝てしまう人がある。これが“ほっとスペースじいちゃんち”の良さではないかと自負している。

最近、スタッフの方から大日向雅美著の『子育てと出会うとき』を読むように勧められた。これはリーダーの私に子どもが無く、当然、孫もいないことを知っているの、子育ての大変さを理解させようとの思いがあったのではと思う。感想は明治維新後の富国強兵時代から敗戦後の時期、高度経済成長期を含めて、日本の男性が子育てをいかに母親任せにしてきたかが分かった。月に1度、土曜日に会を開いている目的は父親も一緒に参加して貰い、子育ての大変さを垣間見てもらいたいという狙いがある。3人の男の子を持つおとうさんが上2人の子どもを連れて参加されたことがあったし、親子3人で参加されたおとうさんが他人の子どもに手を差し伸べて一緒に遊んでおられるのを見て嬉しく思った。これでやっと地域社会の一員になったと思う。

(池の台・岡村紀男)

【お問い合わせ先】

TEL/FAX 03-3729-7894

URL <http://sites.google.com/site/gchanchi/>

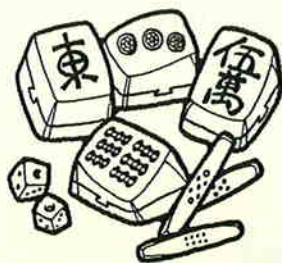
いくじい

育範誕生！ご自宅を開放され、地域で子育てに貢献…の、ユニークなチラシに心惹かれ、編集委員が駆けつけて実現したトップ記事です。

身近でご活躍のあなたの隣人を是非ご紹介下さい。
ご一報いただければ担当がお伺い致します。

サークル紹介 54

笹丸麻雀同好会



笹丸自治会では、自治会館の完成を機に、高齢者見守り事業の一環として麻雀講習会を開くことにしました。

この麻雀とは、賭けない・飲まない・吸わないの「3無い」と、健康作り・仲間づくり・生き甲斐づくりの「3つくり」のいわゆる健康麻雀です。23年9月に、初心者歓迎として講習会開催の掲示をしたところ、20名近くが参加しました。

24年度からは講習会を「笹丸麻雀同好会」として会員の自主運営に移管しました。現在他町会の方を含んだ会員20数名のうち、常時15～18名が参加しています。全くの初心者数名もこの半年間で驚くほどの進化を遂げています。

毎週金曜日の午後1時から5時迄の4時間開催。麻雀卓は6台を保有しています。80歳代の方も多く、平均すると70歳以上で、男女の比率はほぼ同じです。杖の方も多く、車椅子の方もいます。この会の良かったことは幾つかありますが、従来自治会活動に参加することの少なかったマンション住いの方が多く参加していることもその一つです。何よりも大きな成果は参加者全員が和気藹々と麻雀を楽しんでいることです。

(笹丸・浜辺修二)

【お知らせ】

前号の「池雪小学校が焼けた日」を読んで、ご自分の戦争体験を投稿してくださいました方がいらっしゃいました。編集会議で検討し、次号以降の掲載を予定することにいたしました。

このようにふれあい雪谷では皆様からの投稿をお待ちしております。

お詫びと訂正

「ふれあい雪谷」平成24年あさがお号の「編集後記」の掲載内容に誤りがございましたので、訂正いたします。

誤 「大田区18自治会」 → 正 「大田区18地区の各自治会」

編 集 後 記

今年は異常現象が多かった。九州の大分や熊本等で「いまだに見たこともない」豪雨が降り死者十数人をだした。昨年の3・11以降各地で異常気象が起き、いつ首都圏で大災害が起きてもおかしくない。

わが雪谷地域も以前、呑川が氾濫したが堤防を高くし、今では不安は解消された。本誌も絶えず地域の安寧を願って編集に努めて参りたい。

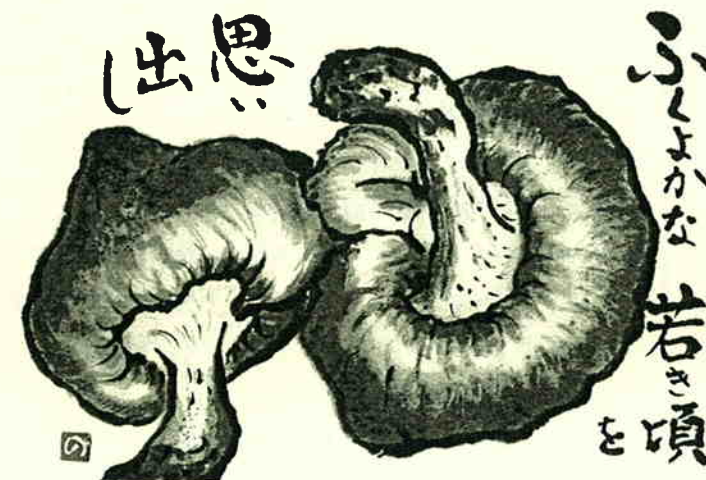
(東中・南健治郎)

ふれあい雪谷(創刊・平成2年(1990)12月20日) 年4回発行
(1月・新年号/4月・さくら号/7月・あさがお号/10月・もみじ号/の1日発行)
[発行日] 平成24年(2012年)もみじ号 10月1日(通巻第88号) 発行
[発行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編集] 「ふれあい雪谷」編集委員会
[連絡先] 雪谷特別出張所
〒145-0065 大田区東雪谷3-6-2 電話3729-5117 FAX3729-1826

http://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts_yukigaya/index.html

ふれあい雪谷

平成24年 10月 もみじ号 通巻第88号



石川台 長谷川 信子さんの作品



ふれあい雪谷編集委員も雪谷地区の編集に携わった『ふるさと発見ブック』が増刷されました！

雪谷特別出張所にて1部200円で販売中です。部数に限りがあるのでお早めに！

小池小学校 開校80周年 おめでとう

小池の笑顔 優しさつなげて 希望の空へ



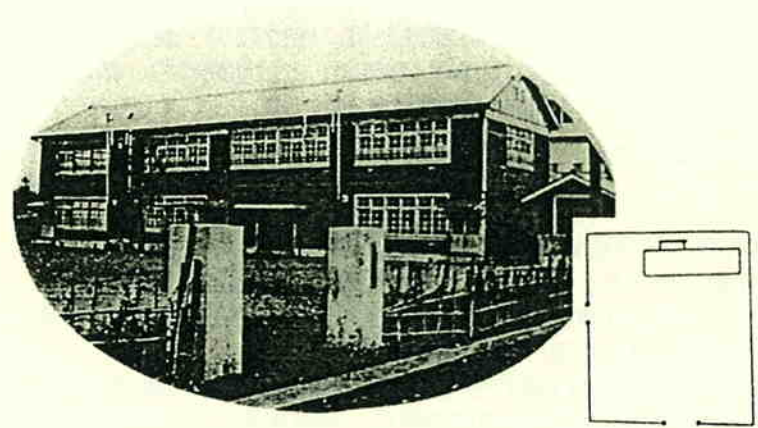
開校80周年を迎える小池小学校

小池小学校長 永井 昌美

小池小学校は、昭和7年10月12日に池雪尋常小学校の分教場として開校しました。今年で開校80年を迎えます。

本校ができるまでは、地域の子どもたちは池雪尋常小学校に通っていました。学校まで遠く、不便を感じるともたちが多くいました。山を切り開いてできた蟬坂などは、雨が降ると滑りやすくて、子どもたちは登校できない日もありました。

開校を願う多くの声と地域の方々の努力で、敷地が決まり校舎ができ、3年生以下の208名が分教場に入りました。この時から、すでに学校と家庭・地域がともに協力する体制ができていたことを心強く思います。しかし、4年生からは本校の池雪尋常小学校に移り、勉強していました。



開校当時の校舎と敷地図

4年生になっても引き続きこの土地で教育が受けられるようにしたいと「分教場独立陳情書」が出され、昭和11年3月27日、東京市小池尋常小学校として独立しました。4年生以下9学級338名の学校となりました。しかし教室不足のため、3年生以下は午前と午後に分かれての2部授業を行っていました。その後、校舎が増築され、5年生2学級が移り、2部授業もなくなりました。ようやく昭和12年4月から全学年がそろった学校になりました。小池小学校が産声を上げた昭和7年はどのような年だったのでしょうか。日本史的には、3月に満州国建国宣言、5月に五・一五事件などが並びます。第10回オリンピックがロサンゼルスで開催され、日本が水泳や陸上など7種目で金メダル7つを獲得したのもこの年です。身近な生活では、商品名に「ジャンプ」という言葉が登場します。物価は、あんぱん2銭、デパート食堂天丼45銭、公衆浴場7銭(現在450円)、新聞5銭(120円)・1ヶ月90銭、都バス10銭(210円)など。この先は、児童の調べ学習に任せたいと思います。開校以来、本校では地域の皆様、歴代の保護者と教職員の尽力により、先進的な教育が進められてきました。現在の学校支援地域本部の先駆けとなる地区連絡協議会は、昭和45年以来本校児童の健全育成に寄与し続けています。また、芝生化も昭和47年に試行されています。平成元年には、大田区で初のワークスペースのある校舎として現校舎ができ、様々な工夫が施された学校施設は、多くの皆様にご利用いただいております。

小池小学校の歴史

昭和	07.10.12	東京市池雪尋常小学校分教場として開校。
	11.03.27	東京市小池尋常小学校として独立。
	12.04	全学年が揃う。
	16.04.01	東京市小池国民学校と校名を変更。
	16.12.08	太平洋戦争が始まる。
	18.07.01	東京都小池国民学校となる。
	20.05.24	戦災で全校舎が焼ける。
	22.04.01	東京都大田区立小池小学校に校名変更。 学校給食が始まる。
	23.05.12	後援会の協力で校地を広げる。
	27.12.25	開校20周年を記念して父母や学区内の方々の寄贈により講堂ができる。
平成	39.07.31	プールができあがる。
	39.10.10	東京オリンピックが開かれる。
	61.03.25	卒業生総数が一万人を超す。
	62.04.17	校舎全面改築が決定する。
	元.04.24	ワークスペースのある新しい様式の校舎ができる。
	02.02.20	透水性ゴムチップウレタンの校庭工事が竣工する。
	13.08.31	全学年フロアのフローリング工事が終わる。
	15.04.01	学校園(農園)ができる。
	18.03.08	オープンスペース冷房化工事竣工。
	24.10.27	開校80周年記念式典を行う。



現在の校舎写真敷地図

いつの時代も、学校は地域文化の集積所です。絶えず人々が集まり、地域文化を創り上げ、次代を担う子どもたちをみんなで育み、いつでも社会貢献ができる場でありたいと考えます。これからも地域とともに歩む学校として、よろしく願いいたします。

雪谷地区学校 開校年・児童、生徒数 ※平成24年4月現在 ※開校年順に掲載しています。

小学校	開校年	児童数	中学校	開校年	生徒数
池雪小学校	1878年 (明治11年)	965	雪谷中学校	1947年 (昭和22年)	428
清明学園初等学校	1930年 (昭和5年)	458	大森第十中学校	1947年 (昭和22年)	379
小池小学校	1932年 (昭和7年)	870	大森第六中学校	1947年 (昭和22年)	361
雪谷小学校	1951年 (昭和26年)	610	清明学園中学校	1951年 (昭和26年)	232
文教大学付属小学校	1951年 (昭和26年)	214	石川台中学校	1955年 (昭和30年)	192
洗足池小学校	1953年 (昭和28年)	267	貝塚中学校	1961年 (昭和36年)	398